

6 防災・減災、国土強靱化の強力かつ計画的な推進

(1) 災害に屈しない県土づくりのための防災・減災、国土強靱化の強力かつ計画的な推進

～ 「強靱な美し国三重」をめざして ～

必要かつ十分な国土強靱化予算の確保

3か年緊急対策により既に効果が発現



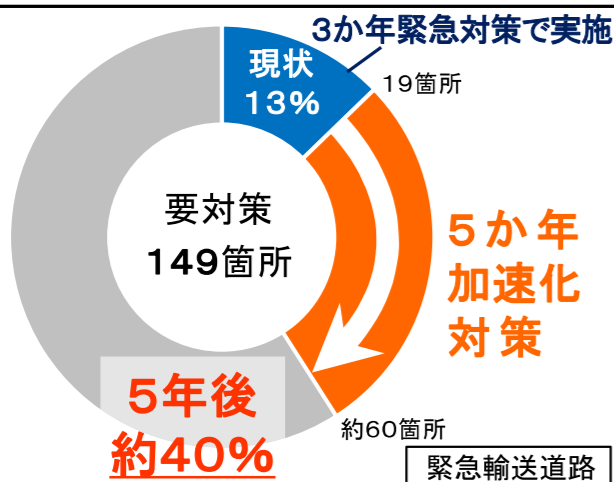
対策前

- 20mm/h以上の降雨でアンダーパスにおいて冠水被害が発生※
- ※年2回程度発生

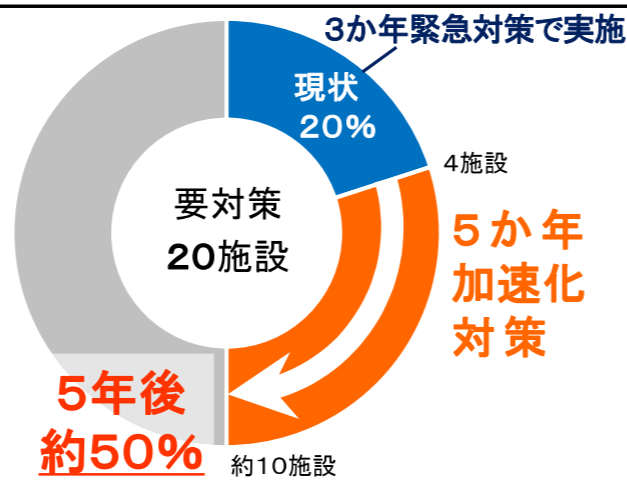
➤ 令和2(2020)年9月の台風第10号による73mm/hの豪雨でも冠水被害なし

三重県独自の5年後の達成目標を設定

法面・盛土の土砂災害防止対策



河口部の大型水門・樋門等の耐震化



国土強靱化対策を強力かつ計画的に推進！

必要かつ十分な予算を、通常の予算とは別途、計画的・持続的な確保を！

要望内容

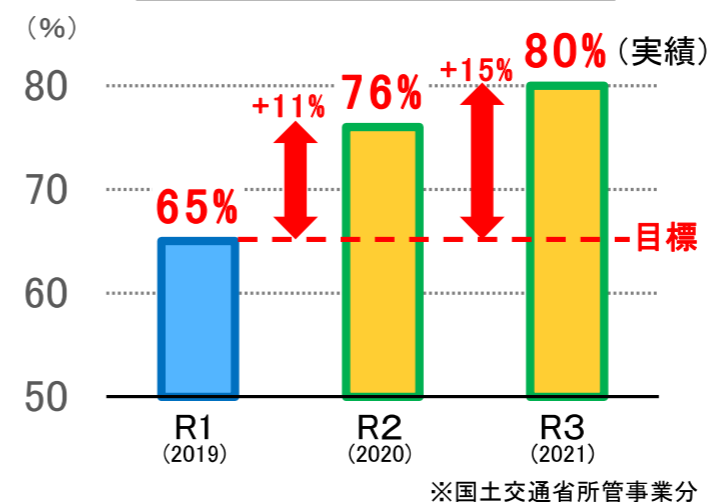
- 1 地方自治体が中長期的な見通しのもと、強力かつ計画的に防災・減災、国土強靱化を推進するため、必要かつ十分な予算を、当初予算を含め、通常の予算とは別途、計画的・持続的に確保すること。
- 2 災害発生時における地方自治体への迅速な支援に加え、地域の防災・減災、国土強靱化を加速化するため、地方整備局等の人員の確保・充実を継続的に図ること。

当初予算を含めた国土強靱化予算の確保

公共事業の早期執行を実現

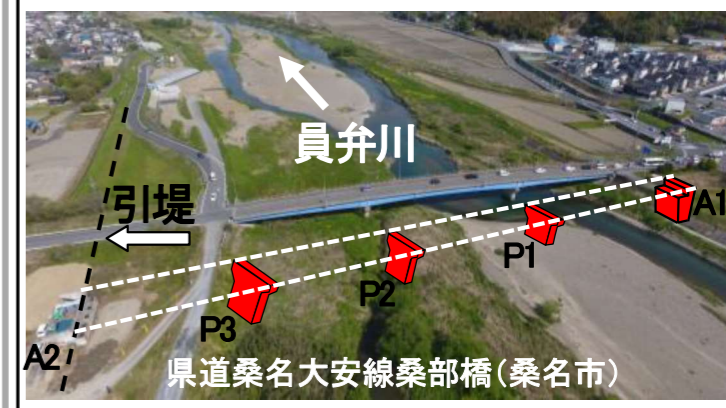
- 令和元(2019)年度実績並みの上半期契約率65%を目標に設定
- 令和3(2021)年度は目標を15%上回る

三重県の上半期契約率※



補正予算の課題例

員弁川河川改修に伴う橋梁架替工事



- 半年以上の工期が必要であったが、補正予算では出水期(5~10月)を除いた5か月しか工期が取れないため、国土強靱化予算が使えなかった

地方整備局等の人員確保

- 地方整備局等の定員は、この2年間は微増したが、20年前に比べて2割以上減少
- 災害時の迅速な地方自治体支援や事前防災・減災対策等に従事する人員はまだまだ必要

地方整備局等の人員の継続的な確保・充実を！

